



記者発表資料

首都国道事務所発注工事において、「間接工事費実績変更方式」の試行及び「難工事指定」「余裕期間制度」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道6号新宿拡幅新宿地区電線共同溝整備工事」については、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、以下①を試行し、②を採用します。また、受注者の円滑な工事体制の確保を図るため、③を採用します。

①「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるためその妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

②「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

③「余裕期間制度」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。

工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことができるため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

電話 047-362-4111（代表）

副所長 おおさと ひろと 大里 弘人 工務課長 いとう ひとし 伊藤 仁

《工事概要》

- (1) 工 事 名： R2国道6号新宿拡幅新宿地区電線共同溝整備工事
かつしかくにいじゅく
- (2) 工事場所：自) 東京都葛飾区新宿2丁目
至) 東京都葛飾区新宿4丁目
- (3) 工 期：工事の始期から240日間（工事着手期限 令和3年4月26日）
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）
- (5) 工事種別：アスファルト舗装工事A等級
- (6) 工事内容（概要）：工事延長 L=400m
- 仮設工（土留・仮締切工） 1式
舗装版撤去工 1式
開削土工（掘削工 740m³、埋戻し工 510m³） 1式
電線共同溝工（管路工 3640m、プレキャストボックス工 20基） 1式
舗装工（アスファルト舗装工 30m²、透水性舗装工 560m²） 1式
排水構造物工 1式
構造物撤去工 1式

《間接工事費実績変更方式》

- 実績により変更を行う工種
- ・ 共通仮設費（率分）のうち、安全費及び運搬費
- 実績により変更を行う理由

本工事箇所は、交通量も多く、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連坦している箇所です。そのため、現道交通、沿道店舗等の出入り、及び歩行者の安全を確保しながら施工しなければならず、交通規制帯をこまめに分割して施工しなければならないことから、安全費について標準歩掛と乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連坦することから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、運搬費において標準積算と乖離が想定されます。以上から、間接工事費実績変更方式の対象項目として「安全費」「運搬費」を対象とします。

《難工事指定》

本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、限られた狭隘な作業ヤード内での施工になることから厳しい安全管理が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《余裕期間制度（任意着手方式）》

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことであり、工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことができるため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

《スケジュール》

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付 | : 令和3年2月 8日（月） |
| ○競争参加資格確認申請書及び資料 提出期限 | : 令和3年2月16日（火） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和3年3月11日（木） |
| ○開札日 | : 令和3年3月16日（火） |